

クロイセオバクテリウム・メニンゴセプティクム由来の α -N-アセチルガラクトサミニダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1259

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 α -N-アセチルガラクトサミニダーゼ (EC 3.2.1.49) は、細菌および動物由来のグリコシド加水分解酵素で、ナガラーゼとも呼ばれています。この酵素をコードするヒト遺伝子は NAGA です。この遺伝子の変異と α -N-アセチルガラクトサミニダーゼ活性の欠乏が、シンドラー病の原因として特定されています。

別名 EC 3.2.1.49; α -N-アセチルガラクトサミニダーゼ; アルファ-N-アセチルガラクトサミニダーゼ; α -アセチルガラクトサミニダーゼ; N-アセチル- α -D-ガラクトサミニダーゼ; N-アセチル- α -ガラクトサミニダーゼ; α -NAGAL; α -NAGA; α -GalNAcase

製品情報

種 クロイセオバクテリウム・メニンゴセプティクム

由来 E. coli

分子量 47 kDa

濃度 20,000 ユニット/ml

単位定義 1ユニットは、1 nmolの(GalNAc α 1-3)(Fuc α 1-2)Gal β 1-4Glc-7-amino-4-methyl-coumarin (AMC)から、37°Cで1時間に> 95%の末端 α -D-N-アセチルガラクトサミンを切断するのに必要な酵素の量として定義され、総反応体積は10 μ lです。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで